

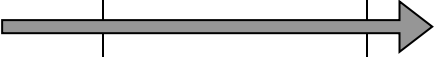
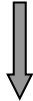
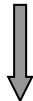
BV+XELIRI

BV(ベバシズマブ)+Cape(カペシタビン) +CPT-11(イリノテカン)

【適応】

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん

【投与スケジュール】

	Day1		Day15		Day21
Cape 800mg/m ² /回※ 1日2回					
BV 7.5mg/kg 90分かけて (初回)					
CPT-11 200mg/m ² 1.5時間かけて					

Cape は Day1 の夕から服用開始し、14日間服用する (Day15 の朝まで)。1週間休薬。

3週を1コースとする。

※BV は初回 90 分かけて点滴静注を行う。InfusionReaction 等なければ、2回目以降、60分、30分と短縮可能。

※BV による重度 (Grade3 以上) の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

※Cape の投与量について：E 法

体表面積	通常量
1.31 m ² 未満	900 mg (3錠)/回
1.31 m ² 以上 1.69 m ² 未満	1200 mg (4錠)/回
1.69 m ² 以上 2.07 m ² 未満	1500 mg (5錠)/回
2.07 m ² 以上	1800 mg (6錠)/回

●カペシタビン投与量について、クレアチニンクリアランス (CLcr) 値により必要に応じて減量してください。

クレアチニンクリアランス推定値 CLcr (Cockcroft-Gault 式)

男性 Ccr 推定値 (mL/min) = 体重 (kg) × (140 - 年齢) ÷ (72 × 血清クレアチニン値 (mg/dL))

女性 Ccr 推定値 (mL/min) = 体重 (kg) × (140 - 年齢) × 0.85 ÷ (72 × 血清クレアチニン値 (mg/dL))

中等度：投与開始前の CLcr が 30～50mL/min の患者→75%用量(減量段階 1)で開始

軽度：投与前の CLcr が 51～80mL/min の患者→初回減量は不要

※Cape の休薬、減量、再開について

NCI による毒性の Grade 判定	治療期間中の処置	治療再開時の投与量
Grade1	休薬・減量不要	減量不要
Grade2 初回発現 2 回目発現 3 回目発現 4 回目発現	Grade0～1 に軽快するまで休薬 Grade0～1 に軽快するまで休薬 Grade0～1 に軽快するまで休薬 投与中止・再投与不可	減量不要 1 段階減量 2 段階減量
Grade3 初回発現 2 回目発現 3 回目発現	Grade0～1 に軽快するまで休薬 Grade0～1 に軽快するまで休薬 投与中止・再投与不可	1 段階減量 2 段階減量
Grade4 初回発現	投与中止・再開不可 あるいは治療継続が患者にとって望ましいと判定された場合は、Grade0～1 に軽快するまで投与中断	2 段階減量

※手足症候群の判定基準

Grade	臨床領域	機能領域
1	しびれ、皮膚知覚過敏、ヒリヒリ・チクチク感、無痛性腫脹、無痛性紅斑	日常生活に制限を受けることはない症状
2	腫脹を伴う有痛性皮膚紅斑	日常生活に制限をうける症状
3	湿性落屑、潰瘍、水疱、強い痛み	日常生活を遂行できない症状
該当する症状の Grade が両基準(臨床領域、機能領域)で一致しない場合は、より適切と判断できる Grade を採用する。		